



夏期講座 12講座に延べ301名受講！

「学び続ける教師」の応援をしている研究所の夏期講座には、保育所・こども園11名、小学校193名、中学校85名、行政等12名の参加がありました。講座開設にあたっては、国や県の教育の動向や教職員のニーズを把握し、講師と本市の課題や受講者の質問等を共有する等、調整を重ねて実施しております。

特に参加者が多い学校での工夫を聞いてみると、「校内研修を減らし自主研修に変更」「保護者面談等の日程調整」「年度初めに夏期講座の日程を周知」「管理職や学年・教科主任からの勧め」等がありました。研修内容を校内でも共有し、共通実践で取り組めたらいいですね。



【夏期講座の振り返りより】

○ 特別支援教育

・正解を求めすぎて信頼関係を崩さないように生徒に寄り添い、将来の自立や社会参加に向けた支援を行っていきたい。適切な行動を増やすというポジティブな視点で背景を探るアセスメントを心がける。

○ LGBTQ+

・当事者、保護者の話を聞いて、全ての教職員の認識を高める必要があると感じた。一部の職員が研修を受けるのではなく、全職員が研修を受ける仕組みが必要かと思う。

○ こ小連携

・好きからつながる幼児期の探究のあり方を学んだ。指導計画を立てる際には、子どもの姿を予測して細かい言葉かけまで計画を立てるプロセスを大事にする。

○ 生成AI

・校務や授業での活用法を学ぶことができた。評価基準に対して一貫した評価が出せるので、参考にしてみたい。



♡【浦添市の教育課題】を考える研修会♡

今年度は、全教員参加の悉皆研修を2回開催しました。本市の教育課題(生徒指導、情報教育)の改善に役立つ内容です。学校体制を再確認し、実践に活かして下さいようお願い致します。



① 教育文化講演会:新井肇教授 ※7/25

『生徒指導提要』が示すこれからの生徒指導の方向性について確認することができました。生徒指導の視点や「支える生徒指導」への意識転換、アセスメントの重要性等、具体的な学びを得ることができました。オンラインによる講話で、時間の関係上グループ協議等を取り入れることはできませんでしたが、その後、各学校の今後の取組について共有する場はもてたでしょうか?チーム学校としての力が発揮できることを期待します。

② 情報モラル・セキュリティー研修会 ※各学校

「自分は大丈夫!という過信を避け、危機感を持った業務推進」「著作権の取り扱いやフリー素材の利用規約の確認」「学校は個人情報の宝庫であることの再確認」「情報漏洩の多くは人的ミスが原因」等、参加者からは多くの声がありました。全ての教職員が、ランサムウェア、フィッシング詐欺、SNSの危険性など、具体的な脅威に対する知識や対処法を学び、児童生徒に伝えていくことが大切です。今後も、最新かつ実践的な情報モラル・セキュリティー教育の継続的实施が求められています。研究所では「事例で学ぶネットモラル」の活用、研究所作成のeラーニング(クイズ)やセキュリティー・チェックリストも推奨しています。



浦添市立
教育研究所
Web ページ



※研究所の業務内容の周知や共通理解のために、所報(奇数月)を発行しますので回覧をお願いします。